「飛鳥Ⅱ」(H23.7.26(火)寄港)

～中心市街地に最高のロケーションを演出～

7月26日午前8時、国内最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」が釧路港にやってきた。当日は、「またしても霧の中のお出迎えか」と思っていたところ、「飛鳥Ⅱ」の入港に合わせ霧がどんどん晴れてゆき、その優雅な船体は全貌を現し、蝦夷太鼓の力強い演奏の中、着岸した。

「飛鳥Ⅱ」(50,124ﾄﾝ)

「釧路港おもてなし倶楽部」は、正午から「おもてなし広場」をオープンし、釧路名物のザンギやラーメン、地元スイーツなどを販売したほか、乗船客には釧路産トキシラズをふんだんに使用した「時鮭汁」を振る舞った。

この日は、天候に恵まれたせいか、夕日ハイボールや生ビール、かき氷やソフトドリンクの売り上げも好調となった。

また、人気の高い一般市民向けの船内見学会やポートウォッチングも実施され、おもてなし広場は賑わいを見せていた。

(「船内見学会」は100名の定員に対し690名の事前応募があり、当日も問い合わせが殺到した。また、市民に人気の「ポートウォッチング」は当日予約60名の定員枠が受付開始後わずか20分で予約満杯となった)

午後5時、「飛鳥Ⅱ」の出港時にお見送りしようと駆けつけた市民は1, 200名にも膨らんだ。

市民は、「飛鳥Ⅱ」のデッキに並んだ乗船客から投げ込まれた5色のテープ600本を受け取り、「また来てね！」のコールと「ご安航を祈る！」の国際信号旗をプリントした団扇や‘大きな手’など企画ものを使用して、盛大にお見送りを行った。

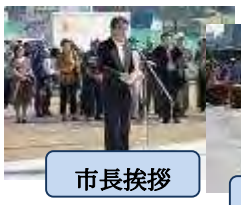
この日「飛鳥Ⅱ」は、午前 8 時から午後 5 時まで釧路川河口の「耐震･旅客船ターミナル」に身を寄せ、釧路の中心市街地に多くの市民を呼び、市民が思い描いていた「最高のロケーション」をもたらした。

「まなぽっと」第1駐車場から

「MOO」から

「幣舞橋」から

☆ 8:00 蝦夷太鼓の演舞、蝦名市長歓迎挨拶、記念品･花束贈呈など岸壁で歓迎セレモニーを開催 (300 人参加)



市長挨拶

記念品贈呈

船長挨拶

蝦夷太鼓による歓迎

☆ 8:15 金星釧路ハイヤーが中心となり「観光タクシーインフォーメーション」を設置

☆ 8:30 関係者船内見学会開始 (30 名)

☆ 9:00 乗船客(491 人)の約半数はオプショナルツアーへ

☆ 12:00 おもてなし広場オープン

大好評だったふるまい

かき氷が大人気！

◎子ども縁日の「輪投げ」「綿あめ」コーナーからは、歓声が上がっていました。

上手くなげられたかな？

子供が楽しんだ輪投げ！

☆ 13:00 釧路開建「たんちょう」によるポートウォッチ開始（4 運航 60 名）

☆ 13:20 一般船内見学会開始（100 名）

豪華な船内に感動☆

◎NHK テレビによる取材があり、同日 6 時 45 分のニュースで放映されました。

お散歩の途中で来た園児達に対して、「飛鳥Ⅱ」のスタッフが駆け寄り、話しかけてくれていました！

子供達からのたくさんの質問にも笑顔で答えていました！